



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)猪田 忠 (TEL)03(5404)8200  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,939	6.7	689	△1.2	913	△5.1	730	4.8
27年3月期第3四半期	14,000	△1.4	698	7.7	962	5.5	696	△11.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 631百万円(△25.1%) 27年3月期第3四半期 842百万円(△8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	21.90	—
27年3月期第3四半期	20.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	30,997	10,660	34.4
27年3月期	31,308	10,229	32.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,660百万円 27年3月期 10,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.6	800	0.7	1,200	2.8	850	1.5	25.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	34,294,400株	27年3月期	34,294,400株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	955,559株	27年3月期	953,208株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	33,339,753株	27年3月期3Q	33,342,527株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における我が国経済は、企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速による輸出の伸び悩みや、個人消費のもたつきにより、全体としては、景気回復に足踏みの動きが見られます。また、世界的な商品市況や株価の下落により、先行きの不透明感が急速に増してきています。

当社グループが属する建設業界は、前年度に引き続き首都圏の大型プロジェクトや東北地方の震災復興関連事業を中心に堅調に推移したものの、新規工事案件の発注遅れや停滞が目立つようになり、当社の業績にも影響が出始めています。

このような環境のなか、当連結会計年度は中期経営計画の最終年度となりますが、国内では、「貸貸重視の営業力強化」をはじめとする重点施策に取り組み、安定的な収益確保に努めました。海外では、タイ国が政情不安からの経済回復が遅れており、タイ丸建株式会社の業績に影響が出ています。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高149億39百万円（前年同四半期比9億39百万円、6.7%増）、営業利益6億89百万円（同8百万円、1.2%減）、経常利益9億13百万円（同49百万円、5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億30百万円（同33百万円、4.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①重仮設事業

首都圏や東北地方を中心に貸貸稼働量が増加したため、売上高は117億61百万円（前年同期比6億78百万円、6.1%増）となりましたが、売却案件の利益が減少したため、セグメント利益は10億69百万円（同29百万円、2.7%減）となりました。

## ②重仮設工事事業

一部工事案件の遅延・着工遅れはあるものの、全体としては大型建築工事が進捗したため、売上高は19億93百万円（同1億74百万円、9.6%増）、セグメント利益は77百万円（同28百万円、56.1%増）となりました。

## ③土木・上下水道施設工事等事業

官庁・民間工事ともに堅調に推移したため、売上高は11億85百万円（同77百万円、7.0%増）、セグメント利益は35百万円（同1百万円、3.3%増）となりました。

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、建設機材の減少5億49百万円などにより、前期末比3億11百万円減の309億97百万円となりました。

負債合計は、借入金の減少6億95百万円などにより、前期末比7億42百万円減の203億37百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益7億30百万円の計上による増加と配当金2億円の支払による減少などにより、差引前期末比4億30百万円増の106億60百万円となり、自己資本比率は1.7ポイント増の34.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成27年5月8日公表の平成28年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,244	1,118
受取手形及び売掛金	7,620	8,217
建設機材	9,831	9,281
商品	65	25
材料貯蔵品	299	269
未成工事支出金	162	71
その他	399	262
貸倒引当金	△79	△32
流動資産合計	19,546	19,213
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,042	8,042
その他(純額)	1,118	1,111
有形固定資産合計	9,161	9,153
無形固定資産		
	12	11
投資その他の資産		
その他	2,659	2,686
貸倒引当金	△70	△67
投資その他の資産合計	2,589	2,618
固定資産合計	11,762	11,784
資産合計	31,308	30,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,455	6,679
短期借入金	6,755	6,850
未払法人税等	69	192
引当金	34	14
その他	1,943	1,697
流動負債合計	15,258	15,433
固定負債		
長期借入金	4,510	3,720
退職給付に係る負債	138	78
その他	1,172	1,104
固定負債合計	5,821	4,903
負債合計	21,079	20,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	4,574	5,105
自己株式	△134	△134
株主資本合計	8,016	8,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	216
土地再評価差額金	1,922	1,924
為替換算調整勘定	12	△62
退職給付に係る調整累計額	39	34
その他の包括利益累計額合計	2,212	2,113
純資産合計	10,229	10,660
負債純資産合計	31,308	30,997

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,000	14,939
売上原価	11,773	12,711
売上総利益	2,227	2,228
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	828	855
福利厚生費	154	164
退職給付費用	53	20
地代家賃	128	127
その他	362	370
販売費及び一般管理費合計	1,528	1,538
営業利益	698	689
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	19
持分法による投資利益	227	179
貸倒引当金戻入額	46	49
その他	50	39
営業外収益合計	335	288
営業外費用		
支払利息	57	52
その他	13	12
営業外費用合計	71	65
経常利益	962	913
税金等調整前四半期純利益	962	913
法人税、住民税及び事業税	70	188
法人税等調整額	195	△5
法人税等合計	265	182
四半期純利益	696	730
親会社株主に帰属する四半期純利益	696	730



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	696	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	△21
土地再評価差額金	-	2
退職給付に係る調整額	22	1
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△81
その他の包括利益合計	146	△98
四半期包括利益	842	631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	842	631

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,073	1,818	1,108	14,000	—	14,000
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	—	10	△10	—
計	11,083	1,818	1,108	14,010	△10	14,000
セグメント利益	1,098	49	34	1,183	△484	698

(注) 1 セグメント利益の調整額△484百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,760	1,993	1,185	14,939	—	14,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	0	1	△1	—
計	11,761	1,993	1,185	14,941	△1	14,939
セグメント利益	1,069	77	35	1,182	△492	689

(注) 1 セグメント利益の調整額△492百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。